

## 第1回 豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会

- 1 開催日時 令和5年7月3日（月）午前10時から午前11時30分まで
- 2 開催場所 Web会議
- 3 出席者 委員5名  
 後委員長、酒井副委員長、塩瀬委員、高津委員、関下委員  
 豊橋市9名  
 財務部 朽名財務部長  
 財政課 伴課長、大竹課長補佐、魚住主査  
 総務部 加藤総務部長  
 行政課 小林課長、小林主幹、近藤主査、高橋
- 4 会議概要 以下のとおり

発言者	要旨
事務局 (行政課長)	<p>ただ今から、第1回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。委員の皆様にはお忙しい中ご参加いただき、御礼申し上げます。</p> <p>本来であれば、初めに委員長・副委員長の選任をするところですが、後委員がまだご出席されていませんので、先に、行財政改革プラン2021-2025取組状況報告書（案）の説明をさせていただこうと思っておりますがよろしいでしょうか。</p>
	《異議なし》
事務局 (行政課長)	<p>それでは、委員長が決まるまでの進行は、私、行政課長の小林が務めさせていただきます。</p> <p>本外部検証委員会は、外部検証委員会設置要綱に基づき設置される委員会です。</p> <p>本委員会は、「附属機関等の設置及び運営の基準に関する要綱」第9条第3号の規定により、議事録をホームページ等で公開したいと考えておりますので、ご了承ください。</p> <p>また、先に議事を進めさせていただき、司会進行を事務局にて進めさせていただきます。</p> <p>今年度初めての開催で委員の交代もありましたので、委員より一言、自己紹介をお願いいたします。</p>
各委員	《各委員自己紹介》
事務局 (行政課長)	<p>続きまして、事務局職員を紹介させていただきます。</p> <p>《事務局紹介》</p>

発言者	要 旨
	<p>それでは、事務局を代表し、総務部長の加藤よりご挨拶を申し上げます。</p>
総務部長	<p>皆様おはようございます。豊橋市総務部長の加藤です。</p> <p>外部検証委員の皆様におかれましては、ご多忙の中ご参加いただき、誠にありがとうございます。本委員会は、「豊橋市行財政改革プラン 2021-2025」の進捗管理にあたり、外部の視点からの評価を実施することを目的として設置されている委員会です。本プランは、令和3年度から令和7年度を計画期間としたプランです。令和4年度はプランの2年目として、「持続可能でスマートな行財政運営の実現」に向けて取組を進めました。本委員会では、令和4年度取組に対し、委員の皆様より様々な見地から評価検証をいただき、より効果的な行財政改革を推進していきたいと思っております。委員の皆様の精力的なご議論をお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。</p>
事務局 (行政課長)	<p>それでは、議題に入ります。</p> <p>先ほど申しましたとおり、次第2 委員長・副委員長の選任については後ほどとさせていただきます、事務局より次第3 行財政改革プラン 2021-2025 取組状況報告書(案)の説明をいたします。</p>
事務局 (行政課主査、 財政課主査)	<p>《行財政改革プラン 2021-2025 取組状況報告書(案)を説明》</p>
事務局 (行政課長)	<p>ただ今事務局から説明させていただいた報告書(案)ですが、令和4年度取組状況や成果について市内部で振り返りをしています。最終的には、委員の皆様のご意見を27・28ページに外部評価として記載し、報告書を9月議会に提出し市民に公表します。</p> <p>委員会のスケジュールについてご説明します。第2回の委員会では、取組の担当課を対象にヒアリングを実施した上で、委員の皆様にご意見をいただきたいと思いますと考えています。そして、第3回において、いただいたご意見を反映させた報告書(案)をご覧いただき、委員会としての最終的な報告書(案)の決定をしていただきたいと思います。と存じます。</p> <p>それでは、後委員が入室されましたので、次第2に戻り、</p>

発言者	要 旨
	<p>委員長・副委員長の選任をお願いしたいと存じます。</p> <p>設置要綱第5条第2項にありますとおり、委員の互選により委員長を選出いただきたいと思ひます。どなたかご発言をお願いします。</p>
高津委員	<p>後房雄委員に委員長をお願いしたいと思ひます。後委員には、昨年度の委員会において、総合計画、行財政改革プラン、予算編成及び行政評価を結び付け、市長のリーダーシップのもと施策を進めていくことの重要性を示していただきました。日本の地方自治制度に精通された後委員のもとで行財政改革を進めていきたいと思ひます。</p>
事務局 (行政課長)	<p>高津委員から後委員を推薦というご発言がありましたが、いかがでしょうか。</p>
	《異議なし》
事務局 (行政課長)	<p>ご異議がないようですので、委員長は後房雄委員に決定します。では、ここからの進行を後委員長をお願いしたいと思ひます。</p>
後委員長	<p>それでは設置要綱第5条第2項にありますように、副委員長は委員長の指名によることとなっております。</p> <p>私としては、委員として経験豊富な、酒井大策委員を副委員長に指名させていただきたいと思ひますがいかがでしょうか。</p>
	《異議なし》
後委員長	<p>それでは酒井委員に副委員長をお願いしたいと存じます。では、次第4 意見交換に移ります。</p>
事務局 (行政課長)	<p>次回の委員会におきまして、取組の担当課を呼び、取組についてのヒアリングを実施しますので、本日は、そのヒアリング対象とする課を選定していただければと考えております。委員の皆様におかれましては、次回のヒアリング対象として取り上げたい取組や指標はどれか、また、どういった内容を聞きたいか、といった視点で意見交換をしていただきたいと存じます。</p>
後委員長	<p>2～4 課程度の担当課を選定します。それではお願いします。</p>
高津委員	<p>総合計画や行財政改革プランは、市長の交代に際して、市長のマニフェストや考えが反映されるのでしょうか。例え</p>

発言者	要 旨
	<p>ば、施策名「働き方改革の推進」においては、リモートワークを進めています。市長の大切にしている「現場主義」に係る指標を取り入れることも必要ではないでしょうか。</p>
<p>事務局 (行政課長)</p>	<p>行財政改革プランは、総合計画を下支えするプランとして、総合計画の前期基本計画の5年間の行財政運営について示したものです。</p> <p>行財政改革プランも令和5年度で3年目となり、実態と計画の乖離が懸念されることがあるかもしれませんが、あくまでも5年間の計画として策定しており、継続性の観点からも、プランを大きく変更することは考えてはいません。</p> <p>一方で、「現場主義」については市長からも強く言われており、効率的な働き方の一つとしてリモートワークが定着してきている中でも、実際に現場に行き市民の声を聞くことは重要なことです。プランを変更することは難しいですが、施策の中で現場主義についても取り組み、報告書の総括欄において取組成果を表現させていただければと思います。</p> <p>なお、指標についても、制度の変更等により指標の数値をとることができなくなったような場合には、プランの変更も検討しますが、そうした場合以外の指標の達成状況等については、報告書の総括欄や各年度の取組内容等欄において表現させていただきたいと思います。</p>
<p>後委員長</p>	<p>行財政改革プランは市長のマニフェストに直結するものではないと思いますが、重要なのは、総合計画とマニフェストの関係だと思います。市長の交代に際し、総合計画の見直しは行ったのでしょうか。</p>
<p>事務局 (行政課長)</p>	<p>総合計画は現在、前期計画の期間中ですが、後期計画に向けて見直しをすることとなります。</p>
<p>事務局 (財務部長)</p>	<p>総合計画は、現市長就任後に策定しているため、市長の政策方針が反映されています。</p>
<p>事務局 (総務部長)</p>	<p>総合計画は、詳細を定めるものではなく、大きな方向性を示した計画であるため、市長の交代により内容に大きなぶれが生じることは想定されていません。具体的な事業計画は、期間3年の実施計画で定めています。</p>
<p>後委員長</p>	<p>現行の総合計画には現市長の政策方針が反映されているということですので今回は当てはまりませんが、市長の交代</p>

発言者	要 旨
	<p>にあたっては、総合計画を策定し直してもよいと個人的には考えています。10年という計画期間ではなく、市長の任期に合わせて4年を計画期間としてもよいと考えます。</p>
塩瀬委員	<p>指標の目標値に対する達成状況が示されていますが、目標値そのものの妥当性が判断できる材料が示されていません。例えば、指標「ふるさと寄附金額」は、令和4年度に令和7年度の目標値を超えています。流出額がどの程度あり、それに対して寄附金の獲得がどの程度あったことにより、結果どうなったのかを示していただきたいです。</p>
事務局 (財政課長)	<p>豊橋市民が他市にふるさと納税による寄附をしたことによる市税の減少額は、約10億円です。差し引きすると、約8億7千万円のマイナスです。豊橋市民が他市にふるさと納税による寄附をすることは、市としてコントロールできるものではありませんので、市の工夫が結果に繋がる本市への寄附金額を指標に設定しました。しかしながら、差し引き結果はマイナスとなっていますので、更なる努力が必要であると考えています。</p>
関下委員	<p>施策名「上下水道事業の安定的な運営」について、指標の達成状況は黒字となっていますが、経常利益が大幅に減少しているようです。昨今の電力料や資材価格の高騰も影響しているのではないかと思います。原価構造が変化していく中で、どのような取組をされていくのか聞いてみたいと思います。</p> <p>また、老朽管渠の更新状況について示していただいているのですが、更新率についても聞いてみたいと思っています。</p>
酒井副委員長	<p>人材に係る施策が重要な観点であると考えます。例えば、施策名「人材の育成と確保」において、新しい取組として「豊橋みらいアカデミー」を開講されています。また、施策名「働き方改革の推進」の指標である時間外勤務時間が増加していますが、選挙事務やマイナンバーカード交付事務等以外の業務についてはどのようなであったかについて、人材関係の部署に詳しく聞いてみたいと思いました。</p>
後委員長	<p>それに関連して、最近ますますAI技術が話題を呼んでいますが、チャットGPT等のデジタルツールを使いこなせる人材を確保することや、ツールをどう使うかが課題であると</p>

発言者	要 旨
	<p>思います。そのあたりはどのような状況でしょうか。</p>
<p>事務局 (行政課長)</p>	<p>デジタル人材については、令和5年度に1名採用しました。チャットGPTについては、状況をみながら活用について検討していきます。</p>
<p>事務局 (総務部長)</p>	<p>デジタル関連の専門的な知識・技能をもった職員の育成が必要と考え、令和4年度に「ICTコミュニティ」を立ち上げました。ICTに関心のある職員を庁内で募り、本市のデジタルアドバイザーと議論等をしながら活動を進めています。ICTコミュニティで身に付けた知識や技術を各課に広げていけるよう、まずはメンバー向けに研修をしたり、アドバイザーのサポートを受けたりして、デジタル人材の育成を進めています。</p> <p>チャットGPTについては、まずはICTコミュニティで使い方や注意点を整理し、マニュアルを整備しようと考えています。</p>
<p>高津委員</p>	<p>デジタル推進に関して、企画部でスマートシティの推進、総務部で庁内のデジタル推進をしており、二元化しているように見受けられます。庁内にとどまらず広く捉えて、スマートシティとしての行政のデジタル推進をしていくべきだと考えます。</p> <p>例えば、部局ごとにアプリ等を作成しているようですが、市全体として一元化されたアプリ等を作成すれば、インストールも簡単で、市民の利便性も向上すると思います。</p>
<p>後委員長</p>	<p>私としては教育委員会と市長の関係性に関心があります。2014年に法改正があり、教育分野に関する市長の指導力が強まったという背景がありますが、実態上は教育委員会の独立性が強い傾向です。総合教育会議を通して、選挙で選ばれた市長が市民の意見を教育に反映する体制が整備されましたが、豊橋市の状況を伺いたいです。総合教育会議は、年に何回開催していますか。</p>
<p>事務局 (財務部長)</p>	<p>年3回から4回程度です。</p>
<p>後委員長</p>	<p>他にヒアリングをしたい内容はないでしょうか。</p> <p>それでは、次第5 第2回外部検証委員会におけるヒアリ</p>

発言者	要 旨
	<p>ング対象課の選定です。</p> <p>まずは、これまでに挙げられたヒアリング案件がどの部署に該当するか、事務局で整理していただけますか。</p>
<p>事務局 (行政課長)</p>	<p>関下委員からお話しいただいた上下水道事業の運営について、黒字となりましたが経常利益が減少している状況については、上下水道局総務課がヒアリングの対象となります。</p> <p>酒井副委員長からお話しいただいた人材の関係性について、みらいアカデミーの開催や、選挙事務及びマイナンバーカード交付事務等以外の業務による時間外勤務の増加の要因、また、デジタル人材の育成については、総務部人事課及び情報企画課（行政デジタル推進室）がヒアリングの対象となります。</p> <p>高津委員からお話しいただいたスマートシティと行政のデジタル推進の一元化については、企画部政策企画課及び総務部情報企画課（行政デジタル推進室）がヒアリングの対象となります。</p> <p>後委員からお話しいただいた総合教育会議の運営状況等、教育委員会と市長の関係性については、教育委員会教育政策課がヒアリングの対象となります。</p>
<p>後委員長</p>	<p>教育委員会と市長の関係性は、プランとの関係でいうと、大きく捉えてガバナンスの強化にあたりと考えるます。</p>
<p>高津委員</p>	<p>学校施設の複合化や統廃合についても、プランの指標の達成状況と併せて関心があります。</p>
<p>後委員長</p>	<p>高津委員がおっしゃった学校施設の関係も含めて、教育政策課をヒアリングの対象としたいと考えますがいかがでしょうか。</p>
<p>事務局 (行政課長)</p>	<p>プランにある複合化モデル事業は、財務部資産経営課、教育委員会教育政策課及び市民協創部市民協働推進課に跨る取組です。</p>
<p>事務局 (財務部長)</p>	<p>学校自体の統廃合であれば教育政策課、プランの財政運営の施策番号4に関連して施設保有量全体のこととなると、複数の課が関係してきます。</p>
<p>後委員長</p>	<p>教育委員会と市長の関係性について教育政策課にヒアリングをするのであれば学校施設についても一緒に聞きたいという趣旨であったと思いますので、今回、ヒアリングの対</p>

発言者	要 旨
	<p>象とするのは教育政策課としたいと思います。 委員の皆様、他にはいかがでしょうか。</p>
塩瀬委員	<p>豊橋東インターチェンジ工業用地の売却先が決定したと のことですが、売却先や売却先の選定過程が気になりました。</p>
事務局 (行政課長)	<p>こちらの担当課は産業部産業政策課になります。</p>
後委員長	<p>6つの課がヒアリング候補として挙がりましたが、全て呼 ぶことは可能でしょうか。</p>
事務局 (行政課長)	<p>例えば、施策ごとにまとめてヒアリングをするのはいかが でしょうか。</p>
後委員長	<p>では、テーマとしては4つ、担当課としては6つとします。  それでは、事務局から今後の予定について連絡をお願いします。</p>
事務局 (行政課長)	<p>活発な議論ありがとうございました。 次回の日程は、7月14日(金)午後4時からです。</p>
後委員長	<p>以上で第1回の委員会を終了します。 本日は、ありがとうございました。</p>